



2019 年度 第 7 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2020 年 3 月 15 日(日) 13:00～15:40

開催場所 静岡県栄養士会事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏 名	坪井	木下	新井	大塚	伊奈	辻井	竹澤	末永	篠原	森下	矢ノ下
出 欠	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏 名	若林	石垣	池谷	上田	久保田	渡邊美	鈴木	渡邊潤	田森	寺田	芹澤
出 欠	○	○W	○W	○W	○W	○W	○W	○W	○	○W	○W
監 事	秋谷	紅林									
出 欠	×	○									

開 会 定刻に至ったため、木下副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち Web 参加 9 名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、本日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、Zoom（Web 会議）を用いて、事務局および自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

議事録作成の選出

議長により、本理事会の議事録作成者に研究教育事業部の篠原啓子理事、地域事業部の若林恭子理事が指名された。

1 会長あいさつ

本日は Web 会議のため報告事項は書面で各自確認のこと。

時間の制約上、承認事項 → 協議事項の順で進行する。

2 前回議事録の確認

- ・第 6 回理事会議事録は、既に確認済み。全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 2 項）

(1) 坪井会長

1 月 22 日 糖尿病歯周病医療連携委員会 県歯科医師会館
 1 月 23 日 県アレルギー疾患医療連絡協議会 パルシェ 7 階会議室
 1 月 25 日 在宅介護者への食生活支援事業研修会（3 事業部合同） あざれあ

1月25日	浜松 IBD 研究会	浜松グランドホテル
1月29日	ふじのくに健康増進計画推進協議会	県庁本館4階会議室
1月30日	静岡市食育会議	静岡市役所
2月7日	静栄ホームページ会議	静栄事務所
2月8日	日栄 Web 会議	静栄事務所
2月14日	令和元年度栄養ケア活動支援整備事業 評価委員会 「管理栄養士・栄養士による健康支援型配食サービス事業」	静栄事務所
2月15日	静栄「栄養士大会」	あざれあ
2月20日	8020 推進住民会議	県歯科医師会館
2月21日	静栄次年度予算会議	静栄事務所

(2) 木下副会長

1月19日(日)	委託事業打ち合わせ	静栄事務所
1月21日(火)	病院相談員と多職種の交流会	浜松市ホテルコンコルド
1月28日(火)	災害時における乳幼児への対応	浜松市浜北文化センター
2月1日(土)	食支援セミナー	あざれあ
2月6日(木)	予算打ち合わせ	静栄事務所
2月15日(土)	静栄栄養士大会	あざれあ
2月16日(日)	予算打ち合わせ	静栄事務所
2月18日(火)	浜松ウェルネスフォーラム 2020	グランドホテル浜松
2月19日(水)	はままつ健康21推進会議	浜松市可美公園総合センター
2月21日(金)	予算打ち合わせ	静栄事務所
3月7日(土)	委託事業打ち合わせ	静栄事務所

(3) 新井副会長

2月15日(土)	第5回 静岡県栄養士大会	あざれあ
----------	--------------	------

4 報告事項

(1) 学術部 (伊奈理事)

第5回静岡県栄養士大会 (2/15)

参加人数 午前 講義 86名 午後 栄養士大会 91名来場 単位付与 72名

参加者アンケート (資料参照)

前回より参加数は減少したが、アンケート結果から、学術発表会・交流会、ポスター会場のそれぞれ満足度は、「大変良かった」が増加した。

アンケートの感想では「ポスターの間隔が広く、聞きやすくなった」「聞きたいものが重なっていた」「有意義だった」などの意見があった。

発表後はポスターの写真を撮っている人も多く、質問される方も昨年より多かったように感じた。

質問時間に、発表者がポスター前にいる方法は質問しやすいと思われた。

今後は、会場や発表者人数による発表の方法など、早めに検討していく。

(2) 研修部 (渡邊美子理事)

①生涯教育基本研修 (渡邊美子理事)

- ・3月20日の基本研修は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止 (延期)

②生涯教育実務研修 (渡邊美子理事)

- ・2月29日東ブロック研修会は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止 (延期)

(3) 広報部 (篠原理事)

特になし

(4) 医療事業部 (久保田理事)

2019年度 医療事業部下半期東海・北陸地区リーダー育成研修会報告

2020年2月1～2日(土・日) 愛知県 出席者: 久保田事業部長、渡邊潤理事

【報告事項】

- ・食事療法学会参加招聘 第39回 3月7～8日(千葉) 幕張国際研修センター
第40回 2021年3月6～7日(京都) 京都テルサ(予定) 第41回 新潟(予定)

- ・2020年度 全国リーダー研修会: 4月18～19日(土・日) 東京医科歯科大(予定)

- ・スキルアップセミナー: 10月25日(日) *場所未定

- ・2020年度 全国栄養士大会(大阪)における講演内容(仮)について報告

- ・2020年診療報酬改定の動向 今回多くの項目に対して評価された。

栄養指導関係では情報機器を利用した栄養食事指導や在宅患者訪問褥瘡管理指導料、外来栄養食事指導の見直し(栄養ケア・ステーションと連携)など。2月7日中医協が詳細公表、HPへ掲載。質問は各県で取りまとめ日栄に送る。

【下半期統一議題】

- ・病棟配置の栄養管理業務、ICUの栄養管理について、各県での配置や活動実態の報告。

今後、関連学会が研修会を開催予定。(日栄でも企画中)

- ・2022年診療報酬改定要望項目として特別食加算の拡大(嚥下調整食、アレルギー食)や、地域包括ケア病棟の要件緩和と資格取得者への指導加算要望あり。食事療養費は慎重に対応。

- ・会員増対策では各県とも未入会者の勧誘には苦慮。養成校からの入会を促している。

会員のメリット、特典を強調(賠償制度、専門資格取得、研修会等の会員割引等)し勧誘を。

- ・2020年度役員主幹事は後日決定、副幹事は三重県。全国幹事に愛知県より伴野広幸氏を推薦。

- ・2020年実態調査(業務量調査)実施の予備調査依頼あり(9月実施予定)

*次回 上半期リーダー研修会: 2020年8月29日(土) 愛知(ウインクあいち)

追記: 3月の食事療法学会(千葉)は感染予防の観点から中止され、事前参加申込者には参加費を返還予定。日本健康・栄養システム学会研修会(特定集中治療室の栄養管理)も中止。次期東海北陸地区主幹事は富山県(現全国幹事)より選出。

令和2年度診療報酬改定について

- ・2月7日中医協で答中が行われ公示内容、点数が公表された。3月5日厚生労働省より告知・通知が公布された。静岡県栄養士会のHPに順次情報提供を行い会員に周知する。

(5)福祉事業部（田森理事）

3月6日（金）2019年度 福祉全国リーダー研修会参加・・・WEB会議で実施。

Web 会議はとても効率的で、静岡県も導入を検討していったほうが良いと思われる。

(6) 地域活動事業部 (若林理事)

1) 地域活動事業部全国リーダー研修会 2月7～8日(金・土) 開催報告(若林・池谷理事出席)

事業報告(詳細は復命書)

2019 年度事業報告

・事業推進委員会（年4回）

・研修会

①2019 年度 全国リーダー研修会

②第37回公衆活動研修会

③2019 年度 全国栄養士大会（全国栄養改善大会）

④ブロック研修会

・東海・北陸ブロック研修会 2019年7月6日

・近畿ブロック研修会 2019年9月8日

・ 関東甲信越ブロック研修会 2019 年 9 月 8 日

2) リーダー研修会の中で、2020年度の計画が出された

2020 年度事業計画

- ・事業推進委員会（年4回開催）内1回はWEB会議

・研修会

①2020年度 全国リーダー研修会 大阪市内予定 2021年1月29日

② 第38回公衆活動研修会 大阪市内予定 2021年1月30日

③ 2020 年度 全国栄養士大会 (全国栄養改善大会)

大阪市グランキューブ大阪 2020 年 8 月 22～23 日

④ブロック研修会

・東海・北陸ブロック研修会 2020年7月18日 名古屋 東邦ガス

☆令和3年度東海北陸ブロック研修会は静岡県開催決定時期と開催場所について

全国リーダー研修会までに予定をする。

3) 2020 年度 地域活動事業推進委員会委員の選任について

2020・2021年度地域活動事業推進委員会委員が選出された。

2月7日 基調講演 「地域で活躍する管理栄養士・栄養士に期待するもの」

公益社団法人日本栄養士会代表理事会長 中村丁次 氏

2月8日 講演Ⅰ 「嘔んで食べることの科学的根拠を知る！」

～栄養士・管理栄養士と歯科の協働～

公立能登総合病院歯科口腔外科部長 長谷剛志 氏

講演Ⅱ 「初めてママパパたちが知りたい赤ちゃんの授乳・離乳食の情報について」

4) 委託事業報告

令和2年1月末 事業終了

① 食品表示適正化・活用普及事業（静岡県健康福祉部生活衛生局生活衛生課）

事業報告書提出 1 月 29 日完了

静岡県から委託業務完了検査合格通知 令和2年2月3日付

請求提出 2月4日 ⇒ 静岡県から委託料を3月6日受領

② しずおか健康惣菜レシピ募集業務 (静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課)

事業報告済み レシピ集健康増進課年度内印刷予定 4月に配布予定

令和2年2月末 事業終了

③元気を見つめる外食活用推進事業業務 (公財) 静岡県生活衛生営業指導センター

④飲食店等における栄養成分表示促進事業業務 (公財) 静岡県生活衛生営業指導センター

⑤富士宮市食文化推進プロジェクト事業 (富士宮市フードバレー推進協議会)

事業報告済み

令和2年3月9日事業終了

⑥食べるから繋がる地域包括ケア推進業務

(7)学校健康教育事業部 (大塚理事)

特になし

(8)公衆衛生事業部 (辻井理事)

2019年度 市町村行政栄養士配置促進要望活動の実施について

令和2年3月5日付け要望書を35市町に送付

(9)研究教育事業部 (末永理事)

2月22-23日開催の2019年度 全国研究教育栄養士研修会ならびに全国リーダー研修会は
新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

(10)勤労者支援事業部 (森下理事)

特になし

(11)静岡 DAT (渡邊潤理事)

特になし

(12)健康づくり啓発協力事業 (竹澤理事)

①しずおか健康づくりサポーター&県民 連携・協働のつどい 出展済 (報告書添付)

日時: 1月29日(水) 13:00~16:30

会場: 浜松市 アクティシティ浜松

※従事者: 地域活動事業部1人 + 公衆衛生事業部1人 計2人

②ふじのくに食と花の都の祭典

日時: 2月22~23日(土・日) →新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催中止

会場: 静岡市・ツインメッセ

※事前の備品・材料等に関する打ち合わせに対しては旅費・日当は必要分を支出した。

(13) 賛助会員の退会について

株式会社丸八ヒロタ（令和2年1月20日 退会届受理）

大栄食品株式会社（令和2年2月25日 退会届受理） 以上2社の退会は承認された。

5 協議事項

(1) 2020年度事業計画及び予算案の承認について

- 【配付資料：2020年度 公益社団法人静岡県栄養士会事業計画（案）、2020年度収支予算書（案）】
- ・事業計画及び収支予算について、各担当理事から提出された予算申請一覧を参照し、事業内容及び査定額を示したので、確認のこと。

① 2020年度事業計画（案）について

② 2020年度収支予算書（案）について

会長からの説明

「25周年記念については積立金（約170万）を取り崩さなくとも行うことができた。しかし、周年記念の積立金は、開催年度の時に引き落とさないと来年度引き落としができなくなる。加えて、公益法人として事業を行うため赤字を出すわけにはいかないので、一旦通帳へ引き落とししたい。積立金の中には災害用やDATの費用も含まれるので、事業に使用したり、再度積み増すことも考えたい。この件については改めて次回の理事会に諮りたい。」

木下副会長からの説明

「事業収入（案）は新入会員140人、会員1,420人、賛助会員65社と想定した。負担金収入は公益法人として名目上、赤字を記載することはできない。このため、一旦は無料とした各研修会だが、受講料として1,000円を徴収することで増減147万円と金額が大きくなったが予算立てを行った。これに関して皆さんのご意見を伺いたい。」

これに対し以下のような意見があった。

- ・予算上1,000円の徴収を入れることは理解できたが、地区研修は参加者数が少ないことや、予算が少ないので講師も身近な方にお願ひし講師料がかからないようにしている。一律でなく金額を500円とか差をつけてほしい。（若林）
- ・受講料を1,000円とした根拠はどこから出たのか？1,000円が1コマなのか半日、1日でも同じ金額なのかなど詳細が決まっていない。この状況で承認するのは難しい。（鈴木）
- ・予算の受講料は合計すると73万円となるが、増減が147万円なので赤字にならない程度に受講料の金額を調整すればいいのではないかと（篠原）
- ・受講料として予算に計上する前に、計上する理由（建前上の数字合わせである）が理事会で承認されていない点が問題である（若林）
- ・受講料徴収について、会員から反対意見が多くでると想定されるが、対応方法はどのように検討されているか？地区と生涯教育は無料にしてほしい。（渡辺美）

受講料に関する以外に、以下のような質問があった

- ・支出が100万円以上増えているのはどうしてですか？
事務局は4人で行うということですか？（池谷）
- ・受講料を徴収するということは、支出が増える想定があるからですか？（渡辺美）
- ・福利厚生費が昨年より減っていますが、保険料が含まれているのですか？（石垣）
- ・委託費が増えているのはどうしてですか？（若林）
- ・増減の差が大きいところは備考の説明がもう少し必要だと思う。（篠原）

この質問に対して、木下副会長より各事業部より提出されている事業費の増加分が68万円であること、委託費については事務局長から、役員改選の年であるため法務局に提出の書類を司法書士に依頼する費用として2年に1度計上分が増えると回答があった。

また、福利厚生費について2020年度は謝金扱いとして計上したが、2019年度は賃金として計上されていた項目違いのため実質の増減の差は少ないと事務局長より説明があった。

これらの意見を受けて、坪井会長から以下の発言があった。

会員数や賛助会員増加による収入増により、運営は楽になる。これが最も望ましいことであるが、2019年度の決算はまだ出ていないが、赤字となる見込み。この状況で予算を組まざるを得ない。積算根拠は他県の研修会は1,000円であること。過去の参加人数で、コマ数で計算されている。しかし、研修会も一般公開講座や総会は無料であるなど様々であり、実際の金額は予算より下がると予想される。徴収の方法の詳細については話を詰めていないが、受講料については無料から1,000円の間で研修会によって幅を持たせることとする。公益法人という性格上、委託事業等すべて含めての予算なので全員が納得できる予算立ては難しいことを理解してもらう必要がある。

また、新型コロナの影響で総会のような大規模の集会の運営や委託事業も今後どのようになるかわからない。総会等は、行政からも従来通りのやり方で行えない場合があることので了承を得ている。例えば総会はハガキで行い、総会で予定している摂収基準や診療報酬についての研修会は別に行うなど、研修会の開催方法も予測できないことが生じる可能性もある。あくまで受講料の徴収は決定事項ではなく、予算上の措置である旨を正式な書類である予算案には含めず、別の書面にして会員に伝え、総会に提案することとしたい。また、支出の項目について会員にも分かるように備考欄に説明を加え、説明文の内容については会員の誤解がないような提示のしかたを、三役で話し合うこととした。

収入の増が大きい件については、なるべく差が小さくなるよう予算案の数字について再度調整する必要があり、理事には追って資料を送付することで2020年度予算案は全会一致で承認された。

なお、予算案の検討は研修会の受講料が収入に盛り込まれる理由について、理事の理解が得られた上で行われた。事業計画（案）については、Web会議のため、事業計画（案）が事前に会議資料として理事に配付され、各理事はその内容を確認して理事会に臨んでおり、それ以上の協議は無かった。

予算案が協議確認されたことをもって、以上について、全会一致で承認された。

(2) 研修部 (渡邊美子理事)

① 2020 年 6 月 6 日 (土) 定時総会・講演会の件

会場：静岡県男女共同参画センター あざれあ 大ホール

展示会場：小ホールと会議室 2 部屋を仮予約済み (会議室は昼食会場として確保)

・講演内容

演題 1: 「日本人の食事摂取基準 2020 年版活用のポイント」 講師 女子栄養大学 上西一弘先生

演題 2: 「診療報酬改定」

講師 調整中

・タイムスケジュール (案)

8:30～9:00	準備
9:00～9:30	理事会
9:30～10:00	受付
10:00～11:30	演題 1 (90 分)
11:30～12:30	休憩 (60 分)
12:30～13:10	総会開始 会長ご挨拶、表彰、来賓紹介・ご挨拶 (2～3 名) (40 分)
13:10～13:40	静岡県の現状と課題 (30 分)
13:40～14:00	休憩 (20 分)
14:00～14:50	総会再開 プラス選挙 (50 分程度)
14:50～15:10	(議員の来場に合わせて連盟支部総会 20 分)
15:10～15:20	休憩 (10 分)
15:20～16:20	演題 2 (60 分)

- ・賛助会員の展示会場は小ホール(6階)を押さえたが、メイン会場の大ホール(6階)と同じ階を展示会場にすることで人の流れがスムーズになるので、小ホールを展示会場とする。

② 生涯教育修了証の件 ※資料参照

- ・3年前の改定で、生涯教育修了証明書については移行措置の期限を定めることなく有効となっていた。(認定管理栄養士試験を受ける場合の移行措置は平成 32 年(2020 年)度まで)
- ・生涯教育終了証についても「32 年度まで有効」と案内文を出していたため、ホームページ上にて周知していく。

③ 2020 年度 生涯教育実務研修

- ・資料参照(月別研修会予定一覧表)以下 3 研修を実施する。
- ・2020 年度の計画に向けての調整(案)
- ・9 月 5 日(学校)講義 1 単位、演習 0.5 単位 あざれあ 大会議室
演題 「食物アレルギー対応について(仮)」
講師：昭和大学医学部小児科学講座 研究補助(管理栄養士)
小児アレルギーエデュケーター(PAE) 長谷川 実穂 先生
- ・10 月 25 日(地域・公衆・勤労)講義 1 単位 あざれあ大会議室 予定
演題 「CKD の保健指導について」
講師：昭和大学大学院 准教授 島居 美幸 先生
- ・7 月～1 月(医療)病態講座 講義 4 単位 2 日間×2 コマ 予算と兼ね合い

- ・栄養ケア・ステーション、「よりソリ」への登録した人が自信を持って講師を担当することができるようになりたい。
 - ・講師を選定する際、講師料が不足する場合は、参加者の受益者負担で受講料を集めることも考える。基準は既定の金額。
- 以上については、全会一致で承認された。

④2020年度 生涯教育基本研修

- ・日栄の進捗状況を確認しながら計画していく。
 - ・DVDの貸出は継続
 - ・3/20の基本研修(演習)の参加申し込みは20名強あったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止した。基本研修を受講することで終了となるため、再度早めに企画して実施の旨を参加者に知らせていきたいと考えているがよろしいか。
- 以上については、全会一致で承認された。

⑤栄養士交流会

目的：会員増（現在の会員の維持及び新入会員の増加）

昨年度：東部…ブロック研修→コロナウイルス感染拡大予防のため、中止した(延期)

中部…ブロック研修→実施

西部…ブロック研修→実施

交流会については、前回の理事会でほかの方法の検討が必要との意見があり、2020年度は新理事に目的にかなう方法を検討してもらうことを委ねたいと考えているが、よろしいか。

以上については、全会一致で承認された。

(3) 学術部

- ・第6回静岡県栄養士大会（学術研究会及び交流会）の方法（ポスターかスライド発表）については4月以降の理事会で協議。
 - ・日程については未定であるが継続する方向で計画していく。
- 以上については、全会一致で承認された。

(4) 広報事業部（篠原理事）

総会スライドについて

総会の昼にスライドを流す。各事業部の案内を総会の2週間前までに出すようにする。

まとめは篠原理事が担当する。

以上については、全会一致で承認された。

(5) 2020年度の地区事業部について

各地区からの意見による、次年度の事業の進め方について

- ・地区別の研修については地区ごとに例年並みの事業回数で計画している。

・ブロック別研修会・交流会について

東ブロックでは、2019年度末に計画した研修会が、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止としたが、同様の企画内容の研修会を2020年度に時期を早めて開催することを検討中。2020年度中部ブロックの開催とりまとめの担当は、志太榛原地区。研修会の内容は調整中。西部ブロックは9月頃に開催予定で、内容等は調整中。以上については、全会一致で承認された。

①地区代表者会議の開催時期について

前回役員改選時（2018年度）は4月22日に開催。（2019年度は4月13日に開催）開催日は事業担当、副会長等で相談する。4月18日（土）理事会の午前に決定。出席予定者：地区代表者（新）、三役の代表（木下副会長）、研修部の代表、地区事業部長（旧、新にも出席依頼予定）、事務局長

②地区代表者及びブロック代表者の選出について

地区代表者及びブロック代表の役員が改選となる。

担当理事は、竹澤さんから名波さんに引き継ぎが行われる予定。

4月からの新しい代表者や会計などが各地区で決まっていると思われ、名前と連絡先を確認し、地区の一覧表を作成する。

①②については、全会一致で承認された。

(6) 新入会員の承認について（木下副会長）

3名（資料）の入会は、全会一致で承認された。

(7) その他

①東部栄養ケア・ステーションより（東部栄養ケア・ステーション担当：若林理事）

4月からの診療報酬、介護報酬改定の中でケア・ステーションを通して管理栄養士への指導依頼が来始めており、3月に在宅訪問栄養指導の希望が2件あった。1件は児童の母親より聖隷沼津病院の主治医に依頼との対応を希望している。病院、ならびに病院の管理栄養士との連携が必要であるため、打ち合わせを進める方向である。但し、新型コロナウイルス感染拡大予防の関係で、病院より対応の希望は、5月以降とされている。

もう1件は、伊豆医療福祉センターに主治医がおり、児童の母親から在宅訪問栄養指導を希望。新型コロナウイルス感染拡大予防の関係から、4月以降に再度、日程の調整をして連携したい。指示書・報告書等の書類の整備も必要である。打合せ時にケア・ステーションを通すため、報酬を幾らにするか先に決めておいた方が話を進めやすい。4月の診療報酬の改定に合わせて準備を進めてよいか。また、登録者を増やすための在宅介護の勉強会を東部で進めてよいか。

この事案については今後も引き続き、検討を要する。

令和2年4月からの診療報酬の改定で、栄養ケア・ステーションに依頼があり、管理栄養士が在宅訪問で栄養指導を行った場合の点数は510点となる。

(なお、ここでいう栄養ケア・ステーションとは、公益社団法人日本栄養士会または都道府県に
定めた直轄のケア・ステーションであり、日本栄養士会・県栄養士会で、認定した認定ケア・
ステーションと混同しないように注意が必要)。

これまで前例がないため、個人指導相当分は担当した管理栄養士に支払いたいことを三役で協
議した。目標としては、まずは指導料の 70%を栄養ケア・ステーション、30%を病院、として
その内栄養ケア・ステーションで 10%を取り 60%を管理栄養士の分配で病院側と協議したい
と考えている。

(病院側がどのような応答をされるか不明であるが、譲歩して病院が報酬の 50%、ケア・ステ
ーションが 50%という設定もあり得ると考えるが、これでは収益にならないと考える。)

② 総会開催のデッドライン (会員への連絡) について

新型コロナウイルス感染拡大予防の影響で、総会開催は国の指針がどうなるか予測がつかない。
総会開始前 2 週間なのか、または 10 日、1 週間など、会員への連絡方法を決めておくことへの
提案が新井副会長よりあった。

総会のやり方も含め、4 月開催の理事会で協議し、会員へ総会資料を送る際に、開催の日時や
開催内容の変更など (または、変更の連絡があるかもしれませんという) 文書を同封する。

加えて、会長より、会員増へのご協力についての文書も同封する。

以上については、全会一致で承認された。

6 連絡事項

(1) 役員選挙投票状況

3 月 13 日現在 : はがき投票数 607 (会員数 1,371 名) 投票の呼びかけをお願いしたい。

投票は、正会員の半数以上の投票がなければ、有効ではない。

投票されたもののうち、過半数が有効投票でなければ、選挙は成立しない。

(2) TNT Geriatric for Dietitian (高齢者栄養療法) e ラーニング導入にむけたモニターの選出 公益社団法人日本栄養士会から依頼があった。

① トライアル実施期間 2020 年 4 月 6 日 (月) ~ 5 月 1 日 (金)

② 生涯教育や関連職域、栄養ケア・ステーション担当等を 4 名選出。

全 4 セクションを 4 名で分担して視聴の予定

(3) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う対応による認定事業の特例について

(公益社団法人日本栄養士会からの連絡事項)

今般の新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各認定事業の申請として見込んでいた要件に
一部達しない会員が生じることが予想され、下記のとおり特例を設けることとなった。

会員へは、ホームページで周知される予定である。

・特例対象とする認定事業

第5回（2020年度）認定管理栄養士・認定栄養士の認定審査に係る申請提出書類

・各該当要件について、必要書類のコピーを申請書類に添えて提出。

1) 生涯教育単位の取得として見込んでいた場合

①中止または延期となった研修会の参加申込をしたことがわかる書類（受講票や領収書等）

②研修会受講による取得単位数がわかる書類（研修概要や案内等）

2) 学会発表要件として見込んでいた場合

予定していた学会の抄録の該当ページ、もしくは発表決定通知等

3) 学会参加として見込んでいた場合

学会参加申込受付が確認できる書類（受付メール等）

・特例申請する会員への事後提出のお願い

特例として申請した要件は、正式な実績となるよう取り組んでいただき、後日申請に必要な書類を整え、申請した所属の県栄養士会へ提出する。認定審査は進めるが、不足内容をすべて確認後に認定の判定となる。

(4) 2020年版基本研修スライドについて

公益社団法人日本栄養士会から基本研修の2020年版のスライドが夏までに送られる予定であり、そのスライドを元に事業を進めてもらいたい旨が新井副会長より追加情報として伝えられた。

7 その他

令和2年10月25日に3事業部合同研修会を、あざれあを会場として開催する。

内容はCKDについて（確認事項 若林理事から）

8 確認事項

(1) 4月初旬の会員への通知について

役員選挙結果通知（4月4日選挙管理委員会の開票後）に同封するものの確認

(2) 行事日程の確認について

4月の理事会は18日（土）を予定

(3) その他

特になし

以 上

議事録作成者 篠原啓子

議事録作成者 荻林恭子

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2020年3月15日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 塚本厚

副会長 新井英一

副会長 木下初代

監事 荻林真佐代

